

[様式第13号]

[特例政令適用一般競争入札]

質 疑 応 答 書

工事名 平成24年度（仮称）仙台市荒井東復興公営住宅新築工事

整理番号		120510087
質 問 事 項	回 答	
(構造)		
No.1 A-01 土工事 建設発生土処理について、構内指示の場所にたい積 及び構外に搬出共に適用印がついております。構外に搬出と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	土工事において発生する残土については、構内に堆積し埋戻し及び敷き均しする土と構外に搬出する土があります。構内堆積分は埋戻し用と敷均し用に使用するので、掘削土の良質な土を確保すること。	
No.2 上記質疑について、構内指示の場所にたい積の場合、たい積する場所をご指示下さい。	仮囲い内とします。	
No.3 A-22～26・52 バルコニー、共通廊下にマリオンがありますが、配筋要領が不明です。縦筋、横筋共 D10 @175 (ダブル) 端部 2-D13 と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	宜しいです。	
No.4 S-1 コンクリート混和剤について、強度が FC27 N/mm ² 以上の場合、高性能 AE 減水剤が必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	宜しいです。J I S A 6204 の規格によるものとします。	
No.5 S-1 嵩上げコンクリートの強度とスランプは、FC18N/mm ² S=15 と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	後打ちコンクリート（躯体以外）は、Fc18, SL=15 で宜しいです。一体打ちとなる場合は、躯体と同じとします。	

[様式第 13号]

<p>No.6 S-25、26</p> <p>配管ピットについて、スラブリスト土間コンクリートの備考欄に配管ピットがありますが、雑詳細図の配管ピット図とスラブ厚、配筋要領が相違しています。雑詳細図の配管ピット図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.8 S-8~11</p> <p>2~R 階梁天端位置について、床・梁伏図の凡例では () 内は SL からの梁天端位置を示す。記入なきは住戸内小梁 (-100) と記載されていますが、記入なき大梁天端位置が不明です。±0 と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>(外部)</p>	
<p>No.9 A-16・31</p> <p>仕上表・1F 共用スペース・EV ホールの床仕上がタイル A 一部防水モルタルとありますが、各設置範囲がわかりません。XB2 通より共用廊下側を防水モルタル仕上と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>図 A-30 のとおり、西棟 1 階エントランス廻りをタイル(A)とし、東棟 1 階エントランス廻り及び各階 EV ホール廻りは防水モルタル金ごて仕上げとします。</p>
<p>No.10 A-29</p> <p>階段詳細図・階段廻りに側溝の記載がありますが、段部部分も側溝が取付と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>図 A-29 のとおり、側溝は踊り場へ設置し、段部は不要とします。</p>
<p>No.11 A-29</p> <p>階段詳細図に階数表示板 B とありますが、サイズ・仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>ACL 塗分けによる表示とし、サイズは 450 角程度とします。</p>

[様式第 13 号]

<p>No.12 A-54 雑詳細図-3・点字手摺表示が計 488 か所とありますが、東棟・西棟それぞれの箇所数をご指示下さい。</p>	<p>西棟が 336 箇所、東棟が 152 箇所になります。</p>
<p>No.13 A-22 立面図 凡例Cに押出成形セメント板 t60 の鉄骨下地との記載がありますが、仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>間仕切壁縦張り工法(1時間耐火)とし、押出成形セメント版 t 60 の上下に鉄骨 L-50×50×6 を通し、Zクリップで固定とします。</p>
<p>No.14 A-15・42・43 開放廊下・住戸アルコフの天井仕上において、仕上表(AE)と天井伏図(EP-G)で相違が見られます。天井伏図(EP-G)をご指示下さい。</p>	<p>天井伏図 (EP-G) を正とします。</p>
<p>No.15 A-15・42・43 上記質疑において、仕上表(AE)が正の場合、AE の凡例が見当たりません。塗装の仕様をご指示下さい。</p>	<p>天井伏図 (EP-G) を正とします。</p>
<p>No.16 A-55 雑詳細図-4・メンテナンス階段において、すべて亜鉛メッキ仕上とありますが、亜鉛メッキ仕上のままとし塗装仕上は不要(手摺を含め)と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.17 A-05・17 車椅子住戸バルコニー部にクワ洗い場の記載がありますが、グレーチング以外の仕様・詳細が不明です。ご指示下さい。</p>	<p>サイズはW600×D600×H100, 仕上げは防水モルタル金ごてとします。</p>
<p>No.18 A-53 雑詳細図-2・ベンチ-2 の箇所数において、下記のように相違が見られます。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 雑詳細図 2:11 か所 平面詳細図: 10 箇所 (正) (西棟: 5 箇所、東棟: 4 箇所)</p>	<p>雑詳細図 2 (11 箇所) を正とします。</p>

[様式第 1 3 号]

<p>No.19 A-52 雑詳細図-1に EXP.J 詳細がありますが、壁+壁部分の EXP.J カバーは該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>EXP.J カバーは必要です。</p>
<p>No.20 A-52 上記質疑において、壁+壁部分の EXP.J カバーが必要な場合、設置範囲を御指示下さい。</p>	<p>床スラブ面の小口になります。</p>
<p>No.21 下記の仕様・品番を御指示下さい。 ・スクリーンパネルA (階段) ・スクリーンパネルB (階段) ・丸環 (屋上) ・資格障害者用磁器質タイル (注意喚起用) ・床下点検口 600 角 (外部廊下)</p>	<ul style="list-style-type: none">・別紙 (図A-57) のとおりです。・別紙 (図A-57) のとおりです。・ステンレス製 19φ, 径 100, L=320 で自在丸環程度とします。・図A-02 の 11 章タイル工事へ記載のとおりです。・図A-05 の 20 章ユニット及びその他工事へ記載のとおりです。
<p>No.22 下記の品番を御指示下さい。 ・露出アスファルト防水 (屋根) ・リシン吹付アクリル系 ・複層塗材吹付 ・押出成形セメント板 t60 リブ付縦積 (エントランス) ・集合郵便受 縦型 4 戸用 (メルコーナー) ・集合郵便受 縦型 3 戸用 (メルコーナー) ・集合郵便受 縦型 2 戸用 (メルコーナー) ・EXP.J カバー ・キーボックス (210 本用) ※箇所数及び設置場所 (棟) を御指示下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・図A-02 の 9 章防水工事へ記載のとおりです。・図A-03, 15 へ記載のとおりです。・同上です。・リブ@60mm, リブ深さ 15mmとします。・図A-55 の雑詳細図4へ記載のとおりです。・同上です。・同上です。 <p>※集合郵便受の箇所数及び設置場所は、図A-30, A-55 のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">・ACEキーボックスC I シリーズ同等品とします。

[様式第 1 3 号]

<p>No.23 A-05・53</p> <p>下記の手摺の仕様・品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルコニー手摺A : H1190 縦格子タイプ ・バルコニー手摺B : H150 笠木タイプ ・バルコニー手摺C : H1150 縦格子タイプ ・廊下手摺A : H1190 縦格子タイプ ・廊下手摺B : H150 笠木タイプ ・廊下手摺C : H1190 縦格子タイプ ・廊下手摺D : H800 支柱ブラケットタイプ ・階段手摺A : ブラケットタイプ ・階段手摺B : スチール製ブラケットタイプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・図A-53 の雑詳細図2へ記載のとおりです。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。 ・別紙(図A-57)のとおりです。
<p>(内部・専有)</p>	
<p>No.24 A-16・40</p> <p>住戸RC面の下地の考え方について、下記の通りに考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>【壁RC面下地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁側RC面(断熱部) : GL工法 ・戸塚RC壁断熱入込部 : GL工法 ・戸塚RC壁(断熱無し部) : 打放補修 <p>【梁RC面下地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁側RC面(断熱部) : GL工法 ・戸塚RC壁断熱入込部 : GL工法 ・戸塚RC壁(断熱無し部) : 打放補修 	<ul style="list-style-type: none"> ・宜しいです。 ・宜しいです。 ・宜しいです。 ・宜しいです。 ・宜しいです。 ・打ち放し補修としますが、断熱入込部と連続する梁はGL工法とします。
<p>No.25 A-33</p> <p>4K・4DK住戸平面詳細図より、和室及び物置の壁・梁部分の断熱入込み端部(段差部分)に見切材が必要と考えられます。下記の通りに考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>*物置 : ラン合板 t5.5×W50</p> <p>*和室,洋室:木製(米母) 50×25 クロス(壁同材)巻込み</p>	<p>宜しいです。</p>

[様式第 1 3 号]

<p>No.26 A-61・62 パ 初伏図(2K)より、中部造作材伏図に和室の付鴨居は 15*70Z3-21P と記載されていますが、15*70Z3-21A に読替えております。御指示下さい。</p>	<p>和室の付鴨居はR（樺単板貼集成材）とします。</p>
<p>No.27 A-67・68 パ 初伏図(4DK)より、中部造作材伏図に和室の付鴨居は 15*70Z3-21P と記載されていますが、15*70Z3-21A に読替えております。御指示下さい。</p>	<p>和室の付鴨居はR（樺単板貼集成材）とします。</p>
<p>No.28 A-03・62 特記仕様書より、木下地の材種は米樺（和室）赤松集成材（洋室）と記載されていますが、パ 初伏図と相違しています。パ 初伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.29 A-16 仕上表・特記仕様に「遮音部分の壁:スラブ からスラブ まで両面共張り上げ密閉する」と記載されていますが、遮音部分の該当が無いと考え、PB 増貼範囲は無いと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.30 A-16 上記質疑において、遮音部分の壁範囲がありましたら、各住戸タイプ ごとの遮音壁範囲を御指示下さい。</p>	<p>図 A - 16 の内部仕上表へ記載のとおり、住戸内・居室に接する P S 及び各住戸内トイレ間仕切壁とします。</p>
<p>No.31 A-16 仕上表・特記仕様に「住戸内トイレ壁パ 初側の PBt12-5」と記載されていますが、耐水 PB に読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

[様式第 13号]

<p>No.32 A-67・68</p> <p>パソ伏図(4DK)より、洋室2とダイニングのサッシ額縁はS「樺単板貼集成材(方位)」となっていますが、C「米樺(一般)」に読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>S(樺単板貼集成材)とします。</p>
<p>No.33 A-62他</p> <p>付鴨居と廻り縁の造作材種は米樺(細材)とありますが、WUC(水性ウレタン木部用クリア)が必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.34 A-35他</p> <p>展開図の凡例に多目的スリーブがありますが、上部は樹脂製、下部はSUS製と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>図A-15の外部仕上表のとおり、バルコニー側は樹脂製、共用廊下側はステンレス製とします。</p>
<p>No.35 A-16・32他</p> <p>押入及び物置壁仕上:珪合板、珪合板の壁下地がRC壁の場合は打放補修面に接着貼りと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.36 A-04・16</p> <p>特記仕様書で化粧石膏ボードは準不燃と不燃の二種がありますが、仕上表でPBは11階は不燃(10階までは準不燃)の記載により、化粧石膏ボードも上記に倣って宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.37 A-04・16</p> <p>特記仕様書で石膏ボード t9.5は準不燃と不燃の二種があります。仕上表でPBは11階は不燃(10階までは準不燃)の記載により、石膏ボード t9.5は上記に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

[様式第 1 3 号]

<p>No.38 A-40・61</p> <p>2K 洋室窓際の下がり天井について、パネル詳細図では CH2180 と記載されていますが、天井伏図で範囲は出窓上部のみ、CH2000 と相違しています。パネル詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>天井伏図 (CH2000) を正とします。</p>
<p>No.39 A-62 他</p> <p>額縁の造作材種の米楯(一般)となっていますが、WUC(水性ウレタン木部用剤)を見込むと考えるて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.40 A-74</p> <p>パネル部分詳細図に手摺受け木下地の記載がありますが、サイズ・仕様(材種)を御指示下さい。</p>	<p>高さ 120mm, 奥行き 41mm, 材種は米楯とします。</p>
<p>No.41 A-61 他</p> <p>パネル詳細図に洗面・脱衣壁下地は耐水 PBt12.5 後貼と記載されていますが、GL の場合は耐水 PBt9.5+PB12.5GL 工法と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.42</p> <p>下記項目の取付下地補強が必要と考えられます。普通合板 t12 とし、サイズは下記のように考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> *L 型手摺:W900×H900 *跳上げ型手摺:W200×H400 *直型手摺:W200×H900 *タカ掛け:W480×H200 *吊戸棚:H100 2 段 	<p>宜しいです。</p>

[様式第 13号]

<p>No.43 A-54</p> <p>コート掛けのサイズ・数量が、雑詳細図-3 と住戸詳細図の収納と押入と相違が見られます。住戸詳細図を正とし、下記のように読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>L 寸法</th> <th>雑詳細図 3</th> <th>住戸詳細図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* l=1000</td> <td>: 0</td> <td>→ 40 か所</td> </tr> <tr> <td>* l=1200</td> <td>: 60</td> <td>→ 20 か所</td> </tr> <tr> <td>* l=1000</td> <td>: 91</td> <td>→ 101 か所</td> </tr> <tr> <td>* l=1000</td> <td>: 2</td> <td>→ 74 か所</td> </tr> <tr> <td>* l=1000</td> <td>: 2</td> <td>→ 0 か所</td> </tr> <tr> <td>* l=1000</td> <td>: 20</td> <td>→ 0 か所</td> </tr> </tbody> </table>	L 寸法	雑詳細図 3	住戸詳細図	* l=1000	: 0	→ 40 か所	* l=1200	: 60	→ 20 か所	* l=1000	: 91	→ 101 か所	* l=1000	: 2	→ 74 か所	* l=1000	: 2	→ 0 か所	* l=1000	: 20	→ 0 か所	<p>図 A-54 の雑詳細図 3 を正とします。</p>
L 寸法	雑詳細図 3	住戸詳細図																				
* l=1000	: 0	→ 40 か所																				
* l=1200	: 60	→ 20 か所																				
* l=1000	: 91	→ 101 か所																				
* l=1000	: 2	→ 74 か所																				
* l=1000	: 2	→ 0 か所																				
* l=1000	: 20	→ 0 か所																				
<p>No.44 A-56</p> <p>雑詳細図-5 流し台仕様のレジフト取付下地が建築工事とあり,t0.8 以上の鉄板とあります。サイズ・厚さを御指示下さい。</p>	<p>W750×H400× t 0.8 とします。</p>																					
<p>No.45 A-16・62 他</p> <p>便所棚の仕様において、内部仕上表の備考欄でポリ合板フラッシュ t20 となっていますが、パネル伏図ではポリ合板 T1t4 と相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>ポリ合板 (t 4mm) 両面貼りの総厚で 20mm とします。</p>																					
<p>No.46 A-61~70</p> <p>各住戸^ハ 初伏図で UB 開口枠は樹脂製と記載されていますが、サイズを 100×25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>																					
<p>No.47 A-62</p> <p>各住戸^ハ 初伏図より、雑材伏図多目的点検口 250 角と記載されていますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>																					

[様式第 13号]

<p>No.48 A-62 上記質疑が建築工事の場合、仕様を御指示下さい。</p>	<p>塩ビ製（ビスカバー付き）とします。</p>
<p>No.49 A-01 特記仕様書-1より、化学濃度物測定と記載されていますが、下記内容を御指示下さい。 1)測定方法を御指示下さい。 2)測定対象物質の種類・種類数を御指示下さい。 3)対象場所とありますが、各タイプ（全7タイプ）1住戸ずつ（西棟：5住戸、東棟：5住戸）が対象となると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 4)対象場所が、居室とありますが、住戸の洋室・和室が対象部屋と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>1)厚生労働省「室内空气中化学物質の採取方法と測定方法」（H12-06）によります。 2)ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，スチレン，エチルベンゼンの6物質とします。 3)西棟と東棟を合わせた全体で7住戸（7タイプ）を対象とします。 4)宜しいです。</p>
<p>No.50 A-40・41・42 天井伏図に天井点検口の記載がありません。必要な場合、サイズ・仕様・棟ごとの数量を指示下さい。</p>	<p>天井点検口は不要です。</p>
<p>No.51 A-27・28 矩計図より、玄関床下地に嵩上げコンクリートがありますが、ワイヤメッシュφ6-100×100は必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.52 A-01 下記の仕様・品番を御指示下さい。 ・フーフロア ・L型手摺(T-1)：樹脂製 34φ L600+800 ・直型手摺(T-2)：樹脂製 34φ L600 ・直型手摺(T-3)：木製 35φ L600 ・直型手摺(T-4)： 樹脂製 34φ L700 跳上げ式</p>	<p>・図A-05の20章ユニット及びその他工事へ記載のとおりです。 ・図A-55の雑詳細図4へ記載のとおりです。 ・同上です。 ・同上です。 ・同上です。</p>

[様式第 1 3 号]

<p>No.53 A-21・55 雑詳細図-4 の設備ハ小屋で壁は「コンクリート打放し+複層塗材」となっていますが、EV シフト中の仕上は不要と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.54 S-6 基礎・ピット伏図より、地下ピットに釜場がありますが、防水モルタル仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>コンクリート直均しとします。</p>
<p>No.55 A-32 他 住戸 MB の仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 床：コンクリート直押え 壁：(RC)コンクリート打放し補修 (ALC)素地 天井：コンクリート打放し補修</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>No.56 A-32 壁 ALC 面素地部分(MB 壁部分)にシーラー処理等見込む項目がありましたら御指示下さい。 (建具)</p>	<p>シーラー処理は不要です。</p>
<p>No.57 A-50、51 木製建具枠の仕上げは NOL と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>WUC (水性ウレタン木部用クリア塗り) とします。</p>
<p>No.58 A-50、51 パネル部分詳細図・下枠下部に受土台(木製)の図示がありますが、材種・仕様を御指示下さい。</p>	<p>米母 (防腐剤処理)、ピッチ@30mm、幅は敷居と同じとします。</p>
<p>No.59 A-50 WD205 3 枚引きフラッシュハンガードは付属金物及び姿図から WD206 と同様、3 枚引違い框板フスマと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>宜しいです。</p>

注 1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合（見積りに必要な事項に限る。）に提出してください。会社名を記入する必要はありません。